

平成30年度 第28回八幡湿原自然再生協議会議事録

平成31年3月10日（日）14時～（2時間30分）
北広島町芸北支所大会議室（北広島町川小田）

【出席】

委員：中越信和，野村春吉，白川勝信，内藤順一，佐久間智子，近藤紘史，川内信忠，小笠原幸信，高木茂，上野吉雄，大田実果，上手新一，中田隆一，大竹邦暁，齋陽，和田秀次，平野正，常富豊，山崎貴之，松田方典，秋田修（関係者含む）
事務局：近藤貞治，村田博史

1 開会

（委員32名中19名出席）

2 挨拶【中越会長】

お集まりの皆様には、日頃から協議会の各事業に献身的に取り組んでいただいております。改めて御礼申し上げます。

湿地の保全・維持管理について、事業実施から経年経過し改めて分かったこともあるが、我々は自然再生という大変困難な課題に取り組んでおり、これらの課題には粘り強く継続して取り組んでいきたい。

3 議題

(1) 報告事業

- ① 八幡湿原自然再生協議会名簿
- ② 八幡湿原地下水位観測

全般では大きな変動はないが上昇した地点があることが報告された。保全・管理部会の活動成果と考えられる。

- ③ 自然再生協議会全国大会
ニュースレターにより報告（H30.12月号）
- ④ 平成30年度の活動報告及び平成31年度活動計画

関係会員から自然再生事業地内で実施・開催された「自然観察会」・「環境教育」・「維持管理（草刈りなど）」・「生物モニタリング調査」などが幅広く実施されていた。
・詳細は各会員から提出された配付資料による。

(3) 協議事項

保全・管理部会から平成31年度活動計画（案）について

- ・山岳会が整備活動を行ってきたエリア等（主に左岸側）については承認された。
- ・それ以外のエリア（右岸側）の整備活動については、4月14日の現地調査を踏まえ判断する。

また、作業に際しては小型重機を使用するが、搬入・搬出に際しては自然再生地にダメージを与えないよう注意するとともに、動員作業では安全管理を徹底するなどの確認が行われた。

(1) その他

- ① 委員から北広島町の野生生物保護区として指定したいとの提案があり，県及び関係機関が協議して，問題が無いようなら協議会としても賛同することとした。
- ② ラムサール条約の登録について，委員から提案があり今後，情報収集することとした。
- ③ 適時の活動については，事務局やメーリングリストにより報告・連携しながら実施し，実施に先立ち計画を伝え，事務局が了解したことを確認して実施する。

なお，年間の活動は，年度末の協議会で報告するようお願いをする。【中越会長】

5 閉会

平成31年3月26日（火）

確認者 八幡湿原自然再生協議会 会長 中越信和
八幡湿原自然再生協議会 委員 秋田 修
(広島県環境県民局 自然環境課 課長)

作成者 八幡湿原自然再生協議会事務局 村田博史
(広島県環境県民局 自然環境課)